

**MITSUBISHI
ELECTRIC**

三菱電機 低温流通管理システム

MELCOLD II

複数系統デマンド制御装置

[業務用]

形名

GT-CNTDM

据付工事／取扱説明書

もくじ	ページ
1.安全のために必ず守ること……	4
2.製品の特徴 ……………	7
3.据付工事 ……………	10
4.電気工事 ……………	12
5.据付工事後の確認 ……………	15
6.LED表示 ……………	16
7.試運転 ……………	17
8.使用方法（基本） ……………	19
9.法令関連の表示 ……………	20
10.保証とアフターサービス ……	21

- ・ ご使用前に、この据付工事／取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- ・ 「据付工事／取扱説明書」は大切に保管してください。
- ・ お客様ご自身では据付けないでください。（安全や機能の確保ができません。）
- ・ お使いになる方が代わる場合には、据付工事／取扱説明書をお渡ししてください。
- ・ この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and the contents of this document cannot be applied in any other country. No servicing is available outside of Japan.

CMR-9036F





もくじ

	ページ
1.安全のために必ず守ること	4
2.製品の特徴	7
2-1.同梱部品	7
2-2.一般市販部品	7
2-3.一般市販部品の仕様	8
2-4.製品仕様	8
2-5.外形寸法	9
3.据付工事	10
3-1.据付方法	10
3-2.保守・点検に関する事項	11
3-3.移設について	11
4.電気工事	12
4-1.電源線・アース線	13
4-2.M-NET伝送線	13
4-3.LANケーブル	14
5.据付工事後の確認	15
6.LED表示	16
7.試運転	17
7-1.お客様への確認事項	17
7-2.試運転の準備	18
7-3.試運転の方法	18
8.使用方法（基本）	19
9.法令関連の表示	20
9-1.使用範囲	20
9-2.使用条件・環境	20
10.保証とアフターサービス	21
10-1.保証について	21
10-1-1.保証できない範囲	21
10-2.補修用性能部品の保有期間	21
10-3.修理を依頼されるときは（出張修理）	21
10-4.お問い合わせ	22

1.安全のために必ず守ること

1.安全のために必ず守ること

- この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、据付けてください。
- ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

 警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度
 注意	取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または、物的損害の発生が想定される危害・損害の程度

- 図記号の意味は次のとおりです。



(一般注意)



(感電注意)



(一般禁止)



(接触禁止)



(水ぬれ禁止)



(ぬれ手禁止)



(一般指示)



(アース接続)

- お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- お使いになる方は、本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

電気配線工事は「第一種電気工事士(工事条件によっては第二種電気工事士)」の資格のある者が行うこと。

警告

◎据付工事をするときに

水のかかるおそれのある場所・湿度が高く結露するような場所には据付けないこと。

- ショート・発火・感電・火災・故障のおそれあり。



水ぬれ禁止

販売店または専門業者が据付工事説明書に従って据付工事を行うこと。

- 不備がある場合、感電・火災のおそれあり。



指示を実行

ユニットの質量に耐えられるところに据付けること。

- 強度不足や取付けに不備がある場合、ユニット落下のおそれあり。



指示を実行

地震に備え、所定の据付工事を行うこと。

- 不備がある場合、ユニット落下のおそれあり。



指示を実行

梱包材を処理すること。

- 包装用の袋で子どもが遊ばないように、破ってから廃棄すること。窒息事故のおそれあり。



指示を実行

◎電気工事をするときに

第一種電気工事士(工事条件によっては第二種電気工事士)の資格のある者が、電気工事を行うこと。「電気設備に関する技術基準」・「内線規程」および据付工事説明書に従うこと。電気配線には所定の配線を用い専用回路を使用すること。

- 電源回路容量不足や施工不備がある場合、ユニットの故障・感電・発煙・火災のおそれあり。



指示を実行

病院・通信事業所などに据付ける場合、ノイズに対する備えを行うこと。

- インバーター機器・自家発電機・高周波医療機器・無線通信機器などの影響により、ユニットの誤動作や故障が発生するおそれあり。
- ユニット側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え、人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音の弊害が生じたりするおそれあり。



指示を実行

リモコンケーブルの切屑などが端子台に入らないようにすること。

- 感電、故障のおそれあり。



指示を実行

正しい容量のブレーカー(漏電遮断器・手元開閉器<開閉器+B種ヒューズ>・配線用遮断器)を使用すること。

- 大きな容量のブレーカーを使用すると、故障・火災のおそれあり。



指示を実行

端子接続部に配線の外力や張力が伝わらないように固定すること。

- 接続や固定に不備がある場合、断線・発熱・発煙・火災のおそれあり。



指示を実行

電流容量などに適合した規格品の配線を使用して電源配線工事をする事。

- 漏電・発熱・火災のおそれあり。



指示を実行

D種接地工事は第一種電気工事士（工事条件によっては第二種電気工事士）の資格のある者が行うこと。

- アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線などに接続しないこと。
- アースに不備がある場合、ノイズによるユニットの誤動作・感電・発煙・火災のおそれあり。



アース接続

指示を実行

◎一般注意

特殊環境では、使用しないこと。

- 油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス（アンモニア・硫黄化合物・酸など）の多いところや、酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところで使用すると、著しい性能の低下・腐食による感電・故障・発煙・火災のおそれあり。



使用禁止

カバーを取付けること。

- 不備がある場合、ほこり・水などによる感電・発煙・火災のおそれあり。



指示を実行

ユニットを水・液体などで洗わないこと。

- 感電・火災・故障のおそれあり。



水ぬれ禁止

保護具を身に付けて操作すること。

- 各基板の端子には電圧がかかっている。保護具をつけないと感電のおそれあり。



指示を実行

◎移設・修理をするときに

分解・改造はしないこと。移設・修理をする場合、販売店または専門業者に依頼すること。

- 不備がある場合、けが・感電・火災のおそれあり。



禁止

⚠ 注意

◎据付工事をするときに

可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがあるところへ設置しないこと。

- 可燃性ガスがユニットの周囲にたまると、火災・爆発のおそれあり。



据付禁止

◎電気工事をするときに

電気工事をする場合、主電源を切ること。

- 感電・けがのおそれあり。



感電注意

電源には過電流遮断器および、漏電遮断器を取付けること。







- 過電流遮断器はユニット1台につき1個設置すること。
- 感電・発煙・発火・火災のおそれあり。



指示を実行

1.安全のために必ず守ること

◎一般注意

<p>部品端面に触れないこと。</p> <p>●けが・感電・故障のおそれあり。</p>  <p>接触禁止</p>	<p>ヒューズ交換の場合、指定容量のヒューズを使用すること。</p> <p>●針金や銅線を使用すると、火災のおそれあり。</p>  <p>指示を実行</p>
<p>濡れた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作しないこと。</p> <p>●火災・感電・故障のおそれあり。</p>  <p>ぬれ手禁止</p>	<p>据付・点検・修理をする場合、周囲の安全を確認すること。(子供を近づけないこと)</p> <p>●工具などが落下した場合、けがのおそれあり。</p>  <p>指示を実行</p>
<p>直射日光のあたる場所、または周囲温度が55℃以上・-10℃以下になる場所に据付けないでください。</p> <p>●変形・故障のおそれあり。</p>  <p>据付禁止</p>	<p>電源線と信号線を結束したり同じ金属管に収納したりしないでください。</p> <p>●誤作動のおそれあり。</p>  <p>指示を実行</p>
<p>据付・点検・修理をする場合、適切な工具を使用してください。</p> <p>●工具が適切でない場合、機器損傷のおそれあり。</p>  <p>指示を実行</p>	<p>電源線を信号端子台に接続しないでください。</p> <p>●故障・破壊のおそれあり。</p>  <p>指示を実行</p>
<p>インターネットに接続する場合、セキュリティを確保してください。</p> <p>●不正アクセスやいたずら操作のおそれあり。 VPN ルータなどのセキュリティ機器を使用すること。</p>  <p>指示を実行</p>	<p>制御盤などの扉に取付けないでください。</p> <p>●振動・衝撃が加わると、落下・故障のおそれあり。</p>  <p>指示を実行</p>

2.製品の特徴

本製品は複数の伝送変換装置（GT-CNT）間にまたがる機器を対象としてデマンド制御を行う場合に使用します。

なお、本製品自体に伝送変換装置（GT-CNT）同等の機能は有していません。

2-1.同梱部品

製品には以下の部品が同梱されておりますので、据付前に確認してください。

品名	個数	備考
GT-CNTDM（製品本体）	1	
据付・取扱説明書（本書）	1	

2-2.一般市販部品

必要に応じて以下の一般市販部品をご準備ください。

	品名	個数	備考
接続配線	AC電源線	適量	
	M-NET伝送線	適量	
	スリーブ付き丸端子	必要量	
盤内に据付ける場合 （必要に応じて）	金属製制御盤	1	
	電源ブレーカ	必要量	
	サーキットプロテクタ	必要量	
	電源用端子台	必要量	
	M-NET伝送線用端子台	必要量	
通信関連 （必要に応じて）	LANケーブル	適量	
	スイッチングHUB	必要量	
	VPNルータ	必要量	

2.製品の特徴

2-3.一般市販部品の仕様

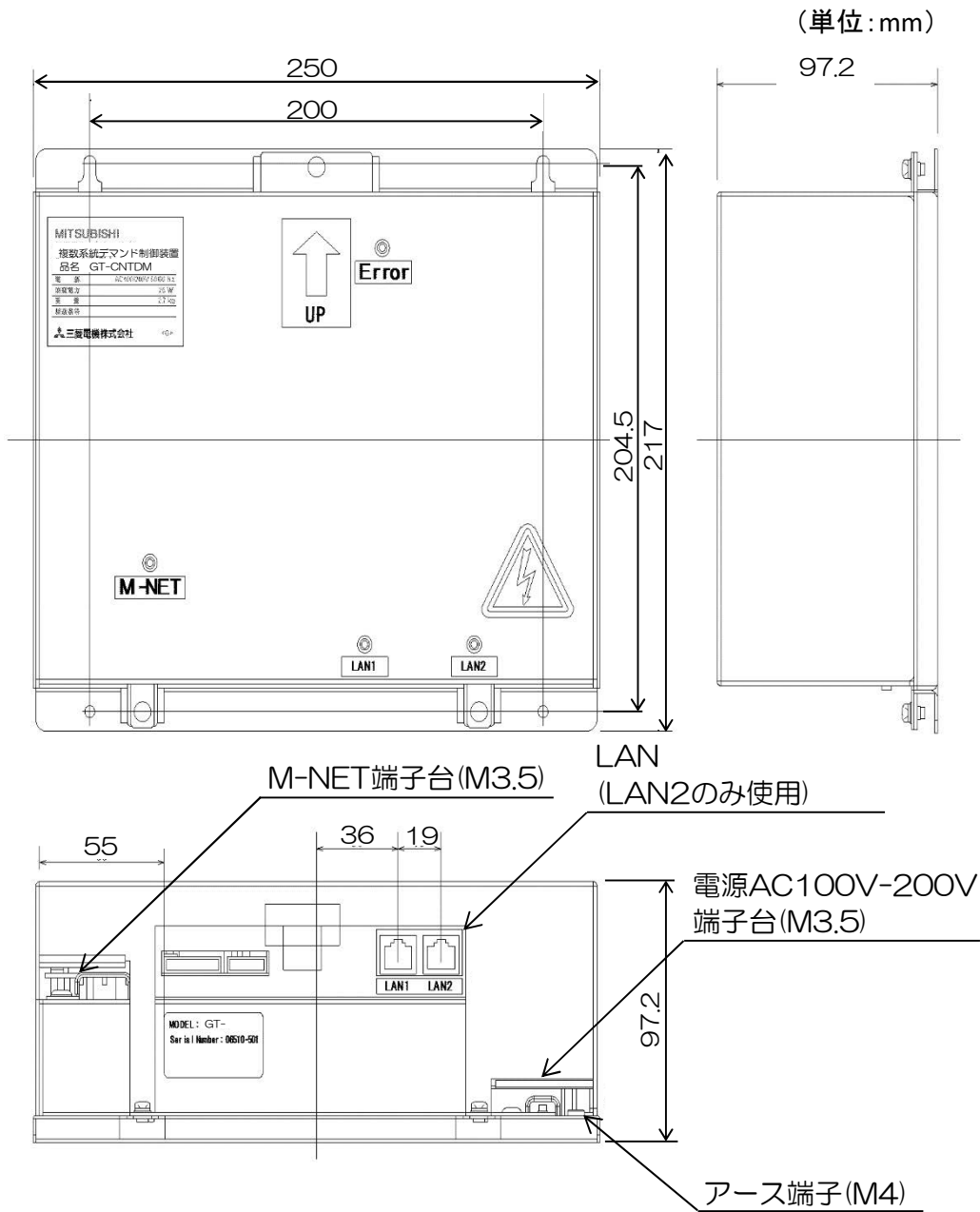
現地手配部品	仕様				
ネジ	本体取付のため、取付箇所に適したM4ネジを4本ご用意ください。				
丸端子（スリーブ付き）	M3.5丸端子（電源用（R、S）およびM-NET伝送線用（A、B、S）） M4丸端子（保護用アース線用）				
電源線・アース線	種類： シース付ケーブル（60227 IEC 53指定） （通常のIEC 60227シース付ケーブルより軽量のものを使用しないでください） <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>電線の種類（推奨）</td> <td>VCT・VVF、VVRまたはこれに相当するもの</td> </tr> <tr> <td>電線サイズ</td> <td>2mm²以上（φ1.6mm以上）</td> </tr> </table> <p>線外径10mmを推奨（端子台の下の配線押さえに固定できる適切な線外径） 保護用アース線の配線色：緑／黄</p>	電線の種類（推奨）	VCT・VVF、VVRまたはこれに相当するもの	電線サイズ	2mm ² 以上（φ1.6mm以上）
電線の種類（推奨）	VCT・VVF、VVRまたはこれに相当するもの				
電線サイズ	2mm ² 以上（φ1.6mm以上）				
M-NET伝送線	種類： シールド線 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>CPEVS φ1.2mm～1.6mm</td> <td>シールド付き通信用PE※1 絶縁PVC※1シールド線</td> </tr> <tr> <td>CVVS、MVVS 1.25mm²～2mm²</td> <td>シールド付き制御用PVC※1 絶縁PVC※1シールド線</td> </tr> </table>	CPEVS φ1.2mm～1.6mm	シールド付き通信用PE※1 絶縁PVC※1シールド線	CVVS、MVVS 1.25mm ² ～2mm ²	シールド付き制御用PVC※1 絶縁PVC※1シールド線
CPEVS φ1.2mm～1.6mm	シールド付き通信用PE※1 絶縁PVC※1シールド線				
CVVS、MVVS 1.25mm ² ～2mm ²	シールド付き制御用PVC※1 絶縁PVC※1シールド線				
LANケーブル	カテゴリ5以上のストレートケーブル（100m以内）				
スイッチングHUB	通信速度100Mbps以上推奨				
過電流遮断器 (右のいずれか)	ヒューズ 定格電流：3A (ヒューズ使用時は定格電流3Aの開閉器を併用してください)				
	配線用遮断器 種類：2極遮断器(2P2E) 定格電流：3A				
漏電用遮断器	種類：2極遮断器(2P2E) 定格電流：3A 定格感度電流：30mA 動作時間：0.1秒以下				
接続配線	本機の端子台にあったサイズの電線（銅線）を使用してください。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>単線</td> <td>φ0.65mm(AWG21)～φ1.2mm(AWG16)</td> </tr> <tr> <td>撚り線</td> <td>0.75mm²(AWG18)～1.25mm²(AWG16)</td> </tr> </table> <p>素線径φ0.18mm以上</p>	単線	φ0.65mm(AWG21)～φ1.2mm(AWG16)	撚り線	0.75mm ² (AWG18)～1.25mm ² (AWG16)
単線	φ0.65mm(AWG21)～φ1.2mm(AWG16)				
撚り線	0.75mm ² (AWG18)～1.25mm ² (AWG16)				

※1 PE：ポリエチレン、PVC：ポリ塩化ビニル

2-4.製品仕様

電源	単相AC100V、200V 50/60Hz
定格消費電力	25W
据付環境	屋内設置（オフィス環境または同等の環境で使用して下さい。）
周囲温度	0～+40℃
周囲湿度	30～90%（但し、凍結・結露なきこと）
外形寸法	250mm×217mm×97.2mm
製品質量	2.7kg

2-5.外形寸法



3.据付工事

警告

水のかかるおそれのある場所・湿度が高く結露するような場所には据付けないこと。

- ショート・発火・感電・火災・故障のおそれあり。



水ぬれ禁止

ユニットの質量に耐えられるところに据付けること。

- 強度不足や取付けに不備がある場合、ユニット落下のおそれあり。



指示を実行

販売店または専門業者が据付工事説明書に従って試運転・点検・サービスを行うこと。

- ◆不備がある場合、故障・けが・感電・火災のおそれあり。



指示を実行

地震に備え、所定の据付工事を行うこと。

- ◆コントローラの落下によるけがのおそれあり。



指示を実行

注意

屋内制御盤内に設置してください。本製品は防水構造ではありません。



指示を実行

制御盤などの扉に取付けしないでください。



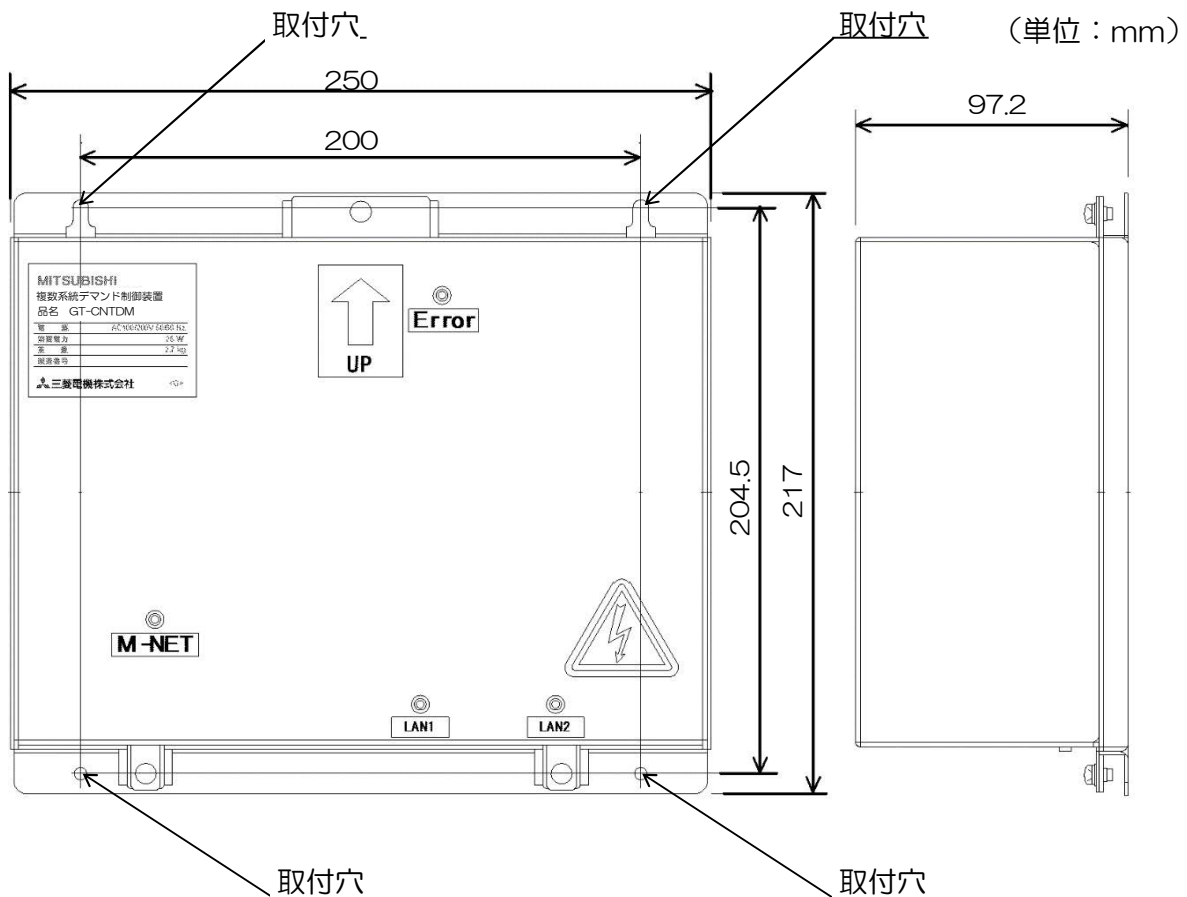
据付禁止

- 振動・衝撃が加わると、落下・故障のおそれあり。

本製品の据付工事は、販売店（工事店）が関連法規・資格などに基づき実施しております。据付工事完了後、「7. 試運転」の事項をお客様ご自身でご確認ください。

3-1.据付方法

本製品は、事務所等のメンテナンスや取扱いのしやすい屋内の制御盤の中に据付けてください。据付けの際は下図のように矢印を上向きにあわせて、正しく設置してください。また、本体をM4ネジで固定してください。



3-2.保守・点検に関する事項

- 運転操作および保守・メンテナンスなどサービスが容易に行えるよう、サービススペースが確保できる場所を選んでください。
- 本製品は、長期間の使用に伴い、製品を構成する部品に生ずる経年劣化などにより、安全上支障が生じるおそれがあります。本製品を良好な状態で長く安心してご利用いただくために、当社指定のサービス会社と保守契約（有料）いただければ、専門のサービスマンがお客様に代わって保守点検をいたします。万一の故障時も早期に発見し、適切な処理を行います。点検のご依頼・ご相談は、「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」（別紙）にご連絡ください。

3-3.移設について

増改築・引っ越しのため、製品を取外し、再据付けをする場合は、移設のための専門の技術や工事の費用が別途必要になります。事前に、お買い上げの販売店（工事店・サービス店）、またはお近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」（別紙）へお問合せください。

4.電気工事

警告

第一種電気工事士（工事条件によっては第二種電気工事士）の資格のある者が、電気工事を行うこと。「電気設備に関する技術基準」・「内線規程」および据付工事説明書に従うこと。電気配線には所定の配線を用い専用回路を使用すること。



指示を実行

●電源回路容量不足や施工不備がある場合、ユニットの故障・感電・発煙・火災のおそれあり。

D種接地工事は第一種電気工事士（工事条件によっては第二種電気工事士）の資格のある者が行うこと。

- ◆アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないこと。
- ◆アースに不備がある場合、ユニットがノイズにより誤動作し、感電・発煙・発火・火災・爆発のおそれあり。



アース接続

注意

電源配線は信号端子台に接続しないこと。

- ◆機器損傷・故障・発煙・火災のおそれあり。



接続禁止

電気工事をする場合、主電源を切ること。

- ◆けが・感電のおそれあり。



感電注意

電源には過電流遮断器、および漏電遮断器を取り付けること。

- ◆過電流遮断器はユニット1台につき1個設置すること。
- ◆感電・発煙・発火・火災のおそれあり。



指示を実行

電源線と信号線を結束したり同じ金属管に収納したりしないでください。

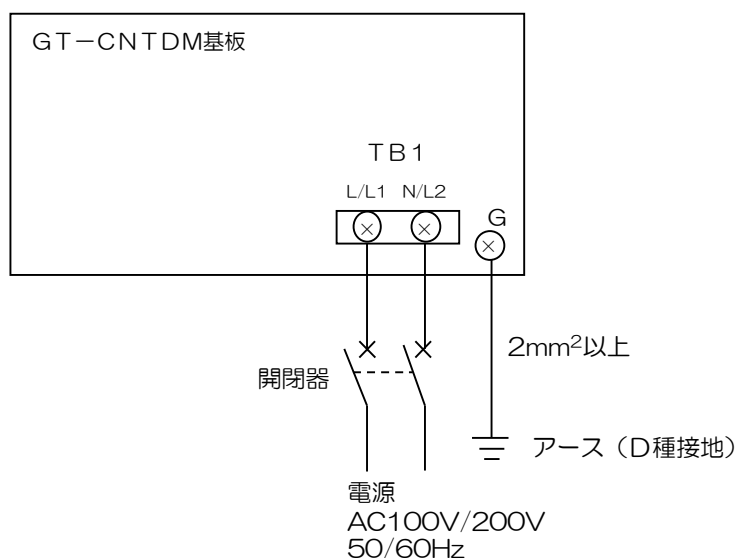
- ◆誤動作のおそれあり。



指示を実行

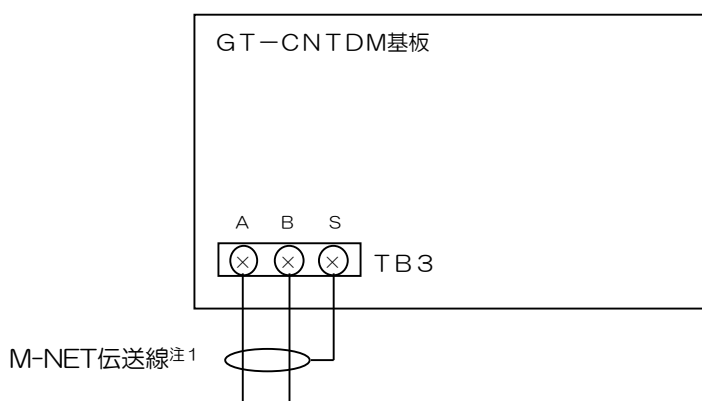
4-1.電源線・アース線

- 下図に示すように電源線を端子台（TB1）のL/L1、N/L2ならびにアース線をG端子に接続してください。
また、電源回路には、必要な開閉器等を「電気設備技術基準」及び「内線規程」に従って設けてください。
- 電源線をM-NET伝送線端子台に接続しないでください。
- 電源線と信号線（M-NET伝送線、LANケーブル、異常出力線）と結束したり、同じ金属管に収納したりしないでください。
- アース線はD種接地工事を行ってください。
- 万一の感電防止のため、アース線は必ずアース専用端子（アース付コンセント）に接続してください。ガス管・水道管・避雷針などへは、絶対に取り付けしないでください。アース専用端子がない場合には、お買上げの販売店にご相談ください。
（アース工事は 有料で、電気工事士の有資格者が工事をするよう法令で定められています。）



4-2.M-NET伝送線

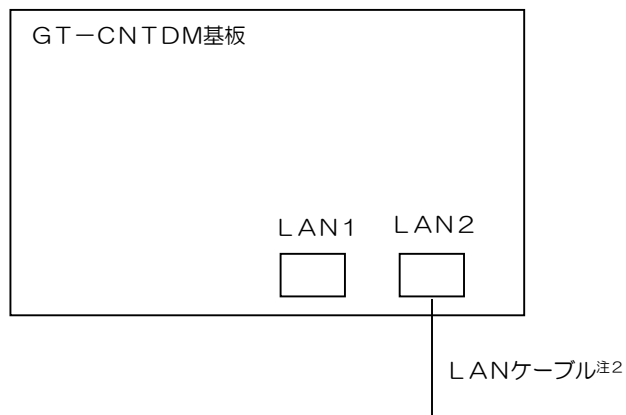
- 下図に示すようにM-NET伝送線を端子台（TB3）のA、Bならびにシールド線をS端子に接続してください。
- M-NET伝送線は2芯シールド線（CVVS、CPEVS）1.25mm²以上を使用し、本製品でシールドアースをとってください。



4.電気工事

4-3.LANケーブル

- 下図に示すようにLANケーブルをコネクタ（LAN2）に接続してください。
- LANケーブルは10BASE-T（カテゴリ3）／100BASE-TX（カテゴリ5）／1000BASE-T（エンハストカテゴリ5）のケーブルを使用してください。



5.据付工事後の確認

据付工事が完了しましたら、各チェックリストに従ってもう一度点検してください。
不具合がありましたら、処置頂くようお願いいたします。
(未処置の場合、機能が発揮できないばかりか、安全性が確保できません)

<据付工事のチェックリスト>

電源線

- | | |
|-------|--|
| AC電源線 | <input type="checkbox"/> 端子台（TB1）に接続する手前で電源線にトラップを設けていますか？
<input type="checkbox"/> 電源線は端子台（TB1）と配線押さえで固定していますか？
<input type="checkbox"/> 電源線は「R」、「S」端子に接続していますか？
<input type="checkbox"/> アース線は、アース端子台に接続していますか？
<input type="checkbox"/> 電源線と伝送線を結束していませんか？
<input type="checkbox"/> 電源線と伝送線は同一管内に収めず、分離していますか？ |
|-------|--|

伝送線

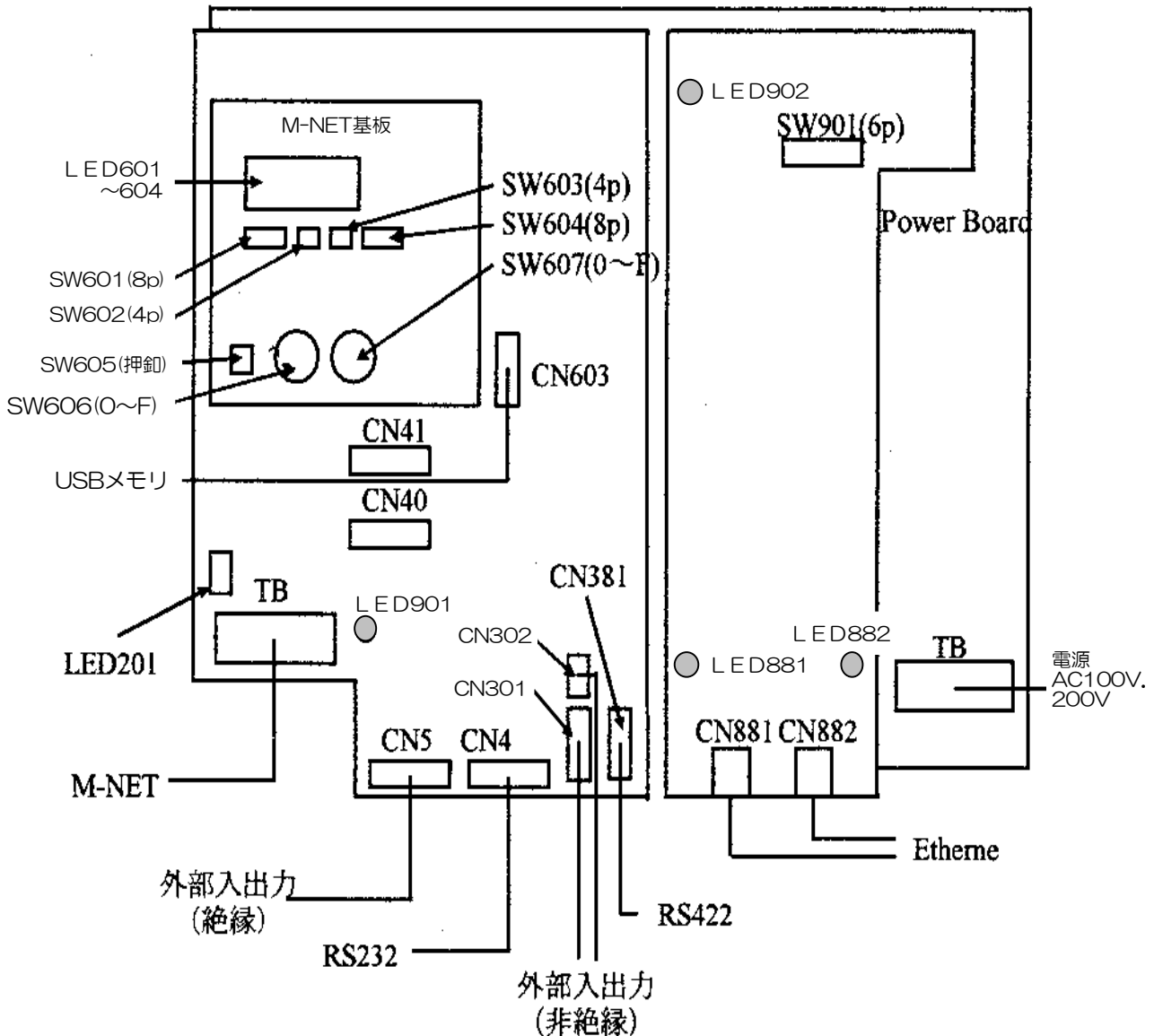
- | | |
|----------|---|
| M-NET伝送線 | <input type="checkbox"/> 端子台（TB3）に接続する手前で伝送線にトラップを設けていますか？
伝送線は端子台（TB3）と配線押さえで固定していますか？
伝送線は「A」、「B」端子に接続していますか？
シールドは「S」端子に接続していますか？ |
|----------|---|

- | | |
|-------|---|
| LAN配線 | <input type="checkbox"/> LAN2に接続していますか？（LAN1は使用できません） |
|-------|---|

- | | |
|--------|--|
| セキュリティ | <input type="checkbox"/> システムはプライベートネットワーク回線、またはVPN機能が付いたルータを介してインターネットに接続されていますか？
（インターネットに接続しない場合、ルータは不要です） |
|--------|--|

6.LED表示

GT-CNTDM基板上的LEDの表示内容(下表)により、本製品の通信状態や異常検知状態を確認できます。



LED NO.	項目	状態	内容
LED881、882	LAN通信状態表示	点灯	LINK中
		消灯	LINK未
		点滅	通信中
LED901	M-NET通信状態表示	点灯	電源通電中
		消灯	電源通電なし
		点滅	M-NET通信中
LED902	異常状態表示	点灯	異常
		消灯	正常

7.試運転

7-1.お客様への確認事項

- 本製品の据付工事は、販売店（工事店）が関連法規・資格に基づき実施しております。
- 販売店（工事店）が試運転を行う際、立ち会ってください。
- 運転手順、安全を確保するための正しい使い方について、販売店（工事店）から説明を受けてください。
- 据付工事が完了後、次の事項をお客様自身でも確認してください。

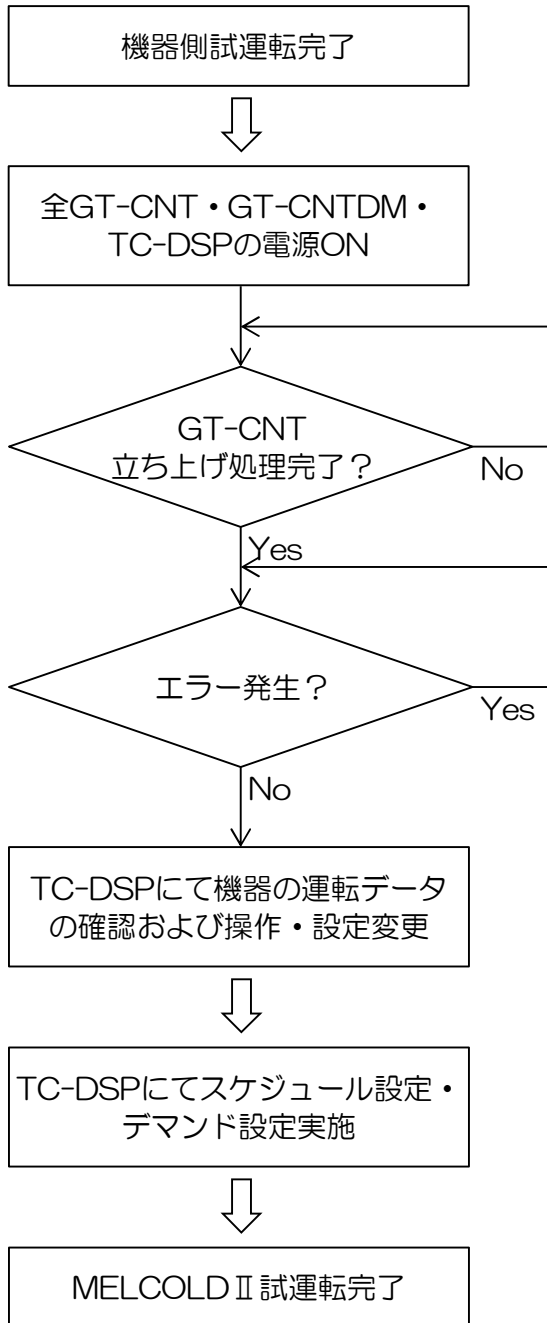
内容	チェック欄
<ul style="list-style-type: none"> • 「安全のために必ず守ること」について説明を受けましたか。 	
<ul style="list-style-type: none"> • 運転手順、安全を確保するための正しい使い方についての説明を受けましたか。 	
<ul style="list-style-type: none"> • 試運転に立ち会いましたか。 	
<ul style="list-style-type: none"> • 「5.据付工事後の確認」のチェックリストがチェックされていることを確認しましたか。 	

7.試運転

7-2.試運転の準備

MELCOLD II システムに接続されている機器の試運転を実施してください。
機器側の試運転方法の詳細は、機器に付属の据付説明書をご覧ください。

7-3.試運転の方法



TC-DSPにて異常を検出しないように、GT-CNT
およびGT-CNTDM→TC-DSPの順に電源をON
してください。

立ち上げ処理は接続台数によって5～15分程度
かかります。TC-DSPのシステム状態確認画面
またはGT-CNT本体の7SegLED表示(※)にて
立ち上げ処理完了/未完を確認できます。

※「6.LED表示」参照。

エラーが発生した場合、GT-CNTサービスLED
("Error"点灯)またはTC-DSPの異常履歴画面
にて確認できます。エラーが発生した場合は
エラーの原因を取り除いてください。

機器の運転データモニタが行えることを確認して
ください。また必要に応じて、機器の操作・設定
内容を変更して下さい。

必要に応じてスケジュール設定およびデマンド
設定(目標値・停止禁止順位等)を実施して
ください。

8.使用方法（基本）

メンテナンス時等を除き、GT-CNTDMの電源は常時通電した状態でご使用ください。
GT-CNTDMの電源をOFFした場合、以下が機能不能となります。

- デマンド制御
- TC-DSP（Webパソコン）からの操作・設定変更
- 運転データの収集

※瞬停や短い停電時に備え、GT-CNTDMの電源にはUPS（無停電電源装置）をご使用ください。

9.法令関連の表示

標準的な使用環境と異なる環境で使用された場合や、経年劣化を進める事情が存在する場合には、設計仕様期間よりも早期に安全上支障をきたすおそれがあります。

9-1.使用範囲

下記の環境条件で使用してください。

項目	仕様	
環境条件	使用温度範囲	0°C~+40°C
	保存温度範囲	-20°C~+60°C
	湿度	30%~90% RH (結露なきこと)

9-2.使用条件・環境

下記の項目に適合する環境で使用することは避けてください。

- 温度・湿度の高い場所、あるいはその変化の激しい場所でご使用される場合
- 電源変動（電圧、周波数、波形歪み等）が大きい場所でご使用される場合（許容範囲外での使用はできません）
- 振動、衝撃が多い場所に設置され、ご使用される場合
- 塵埃、塩分、亜硫酸ガスおよび硫化水素などの有害ガス・オイルミスト等良くない雰囲気でご使用される場合

10.保証とアフターサービス

10-1.無料保証期間および範囲

- 保証期間は、お買上げ日（据付日または試運転完了日）から1年間です。
 なお、無料にて支給するのは故障した部品、または当社が交換を認めたユニットに限ります。
 （ただし「10-1-1.保証できない範囲」項に記載する使用方法による故障については、保証期間中であっても有料となります。）
 なお、製品本体の故障もしくは不具合より発生した、冷却温度上昇による健康障害や食品劣化、水漏れなどによる家財破損などの付随的損害の責については、ご容赦ください。当社代理店などと相談のうえ、損害保険で対処してください。
 （代理店などと相談して損害保険に加入してください。）

10-1-1.保証できない範囲

1) 下表に指定した範囲外で使用したことによる故障の場合

項目	使用範囲
電源	単相AC100V、200V 50/60Hz
据付環境	屋内設置（オフィス環境または同等の環境で使用）
周囲温度	0～+40℃
周囲湿度	30～90%（但し、凍結・結露なきこと）

2) 当社の出荷品を据付にあたって改造した場合

3) 運転、調整、保守の不備による故障の場合

- 塩害
- 据付場所不備による故障
- メンテナンス不備

4) 天災、火災による故障

5) 据付工事中に不都合がある場合

- 当社関係者が工事上の不備を指摘したにもかかわらず改善されなかった場合

6) その他、ユニット据付、運転、調整、保守上常識となっている内容を逸脱した工事および使用方法での事故は、一切保証できません。

10-2.補修用性能部品の保有期間

- 当社は、この製品の補修用性能部品を製造後9年保有しています。
 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

10-3.修理を依頼されるときは（出張修理）

- 不具合があるときは、ご使用を中止し、必ず配線用遮断器（ブレーカー）を切（OFF）にしてから、お買い上げの販売店（工事店・サービス店）にご連絡下さい。
- 保証期間中は保証の規定にしたがって、販売店（工事店・サービス店）が修理させていただきます。
- 離島および離島に準じる遠隔地へのお出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。

10.保証とアフターサービス

- 保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。料金などについては、販売店（工事店・サービス店）にご相談ください。点検・診断のみでも有料となることがあります。ただし、補修用性能部品の保有期間が過ぎている場合は、修理できないことがあります。
- 修理料金は、技術料+部品代+出張料などで構成されています。

技術料	製品の点検や故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術員を派遣する費用（出張料）や有料駐車場の費用（駐車料）を別途いただく場合があります。

- 機器の接続・機器の調整・取り扱い方法の説明なども修理料金に含まれます。
- ご連絡いただきたい内容（出張修理対象商品）

お買上げ日 (据付日または試運転完了日)	年 月 日
故障の状況	「できるだけ具体的に」
ご住所	「付近の目印なども」
お名前	
電話番号	
訪問希望日	

- この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and the contents in this document cannot be applied in any other country. No servicing is available outside of Japan.

10-4.お問い合わせ


- ご不明な点は、まずお買上げの販売店（工事店・サービス店）にお問い合わせください。お買上げの販売店（工事店・サービス店）にご依頼できない場合は「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」（別紙）へお問い合わせください。
(所在地、電話番号などについては変更になることがありますのでご了承願います)

<p>お問い合わせ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて</p> <p>三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記の通り、お取り扱いします。</p> <p>1.お問合せ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。</p> <p>2.上記利用目的のために、お問合せ（ご依頼）内容に記録を残すことがあります。</p> <p>3.あらかじめお客様からご了承をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。</p> <p>①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合</p> <p>②法令等の定める規定に基づく場合。</p> <p>4.個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡下さい。</p>

MEMO

便利メモ	お買上げ販売店名
	電話番号

愛情点検 ●長年ご使用の低温流通管理システムの点検を！



こんな症状は
ありませんか

- 運転音が異常に大きくなる。
- 室内ユニットから水が漏れる。
- 電源が頻繁に落ちる。
- その他の異常・故障がある

▶

**ご使用
中止**

事故防止のため、配線用遮断機(ブレーカー)を切(OFF)にし、販売店に点検・修理をご相談ください。

三菱電機空調ワンコールシステム

空調 24時間 365日

0120-9-24365 (フリーコール)

「修理依頼」「サービス部品注文」(365日・24時間受付)
「技術相談」(月～金曜 9:00～19:00、土曜・日曜・祝日 9:00～17:00)

 暮らしと設備の総合情報サイト[WINK]

製品のカatalog・技術情報等はこちらから。

三菱電機冷熱相談センター

0037-80-2224 (フリーボイス) / 073-427-2224 (携帯・IP電話対応)
(月～金曜 9:00～19:00、土曜・日曜・祝日 9:00～17:00)

FAX (365日・24時間受付) 0037-80-2229 (フリーボイス) / 073-428-2229 (通常FAX)



冷熱システム製作所 〒851-2102 長崎県西彼杵郡時津町浜田郷517-7
(095)881-1143

お問い合わせは下記へどうぞ

三菱電機住環境システムズ株式会社	北海道支社	(011) 893-1342
三菱電機住環境システムズ株式会社	東北支社	(022) 742-3020
三菱電機住環境システムズ株式会社	東京支社	(03) 3847-4339
三菱電機住環境システムズ株式会社	中部支社	(052) 725-2080
	北陸営業部	(076) 252-9935
三菱電機住環境システムズ株式会社	関西支社	(06) 6310-5061
三菱電機住環境システムズ株式会社	中四国支社	(082) 504-7362
	四国営業本部	(087) 879-1066
三菱電機住環境システムズ株式会社	九州支社	(092) 476-7104
沖縄三菱電機販売株式会社		(098) 898-1111

据付説明書内で、安全のため必ず守っていただく項目を
△ 警告 △ 注意 の形で記載しました。
 安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。
 据付工事の前に、この説明書を必ずお読みください。